

表紙画像について…… 盛丘 由樹年

「田園にタカ形の凧たかが舞う」 神奈川県中井町比奈窪ひなくぼ

2023年8月28日撮影

季節的には夏の終わりだったが、暑い日が続いていて。私は少々の暑さは覚悟の上で、隣町の中井町ハイキングコース（こゆるぎの丘）を歩いてみた。このところ探訪に出ていなかったら、軽い足慣らしのつもりだった。

この日、朝8時ごろ中井町役場に着き、歩き始めた。近く平地に田が広がっている。整然と区画された田には、まだ青々とした稲が繁茂している。穂は頭をたれ、収穫時期が近いことを示している。おそらく、9月になれば、収穫されるのだろう。その田の上に凧が上がっていることに目が引かれた。歩く予定の方向とは逆だったが、絵になると思っ、気の向くままに寄り道してみた。

翼を広げたタカ（トンビ？）形の凧が、それほど高くない位置で左右に揺れ動いている。田の中の支柱に糸で結ばれ、自然の風に吹かれて動いている。近くに人影があり、一人で熱心に農作業している（植栽用のばさみで雑草を刈っているように見える）人がいる。まだ涼しい朝のうちに作業をしておこうとしているかのように集中している。近づく私のほうなど、ちらりとも見ない。この人物と、遠近二つの凧が一シーンに収まるように、写真を撮った。

これらの凧は、スズメ除けのものらしく、それなりの効果はあるのだろう。下手な作りの案山子かかしよりは、効果的かもしれない。この地区の中には、案山子をすらりと並べだ一角もあった。スズメには一粒たりともコメを食わせないと主張している。